

作成 2002 年 4 月 1 日

改訂 2016 年 6 月 10 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アーロン 21 C
会社名	ニッコーリファイン 株式会社
所在地	兵庫県西宮市津門大塚町 6 番 12 号
電話番号	0798-35-6343
F A X 番号	0798-35-6323
用途・使用上の制限	ドライクリーニング用ソープ

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分 5
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入・ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入・蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入・粉じん）	: 分類できない
急性毒性（吸入・ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食／刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 区分 2 B
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水性環境有害性(急性)	: 区分 3
水性環境有害性(慢性)	: 区分外

G H S ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 皮膚刺激 眼への刺激 水性生物に有害

注意書き

- 「安全対策」： この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 眼、皮膚、衣類につけないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。
- 「対応」： 火災の場合は適切な消火方法をとること。
 吸入した場合、空気のきれいな場所に移動し呼吸しやすい姿勢で休ませること。
 飲み込んだ場合、無理に吐かせず直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合、きれいな水で数分間注意深く洗うこと。
 痛みや外観の変化、炎症のある場合は直ちに医師の手当てを受けること。
- 「保管」： 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
 容器を密閉しておくこと。
- 「廃棄」： 適切な焼却炉で焼却処理するか都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名	陽イオン界面活性剤	非イオン界面活性剤	クロロヘキシジン塩
含有量 (wt%)	非公開	非公開	非公開
官報公示整理番号	登録済	登録済	登録済
CAS No.	非公開	非公開	非公開

危険有害成分

- 化学物質管理促進法： 非該当
 労働安全衛生法： 非該当
 毒劇物取締法： 非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合： 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合： 皮膚を流水で洗う。異状がある場合は医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合： 清浄な水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗うこと。直ちに眼科医の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察を受けること。
 医師に対する特別注意事項： 情報なし

5. 火災時の措置

- 消火剤： 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
 大規模火災の際には、泡消火剤を用いて空気を遮断すると有効である。
- 使ってはならない消火剤： 特になし。
- 火災時の特定危険有害性： この製品は引火しないが、高温の金属表面等に触れる、あるいは発生した蒸気によって燃焼や爆発が起きるおそれがある。
- 特定の消火方法： 周囲の設備等にも散水して冷却する。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 安全に対処できるなら着火源を除去する。
- 消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル）等を着用する。
直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入を禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 側溝、下水、河川に流出しないよう注意する。
- 回収 : 漏洩した液は土砂、土のう等で流出を防止する。
大量に漏洩した場合には移動ポンプ等で空き容器に回収する。
少量の場合は吸着材（おがくず・ウエス等）に吸収させて、焼却炉で少量ずつ焼却処理する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。
- 二次災害の防止策 : すべての発火源を速やかに取除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 液の漏洩をできるだけ防ぐ。
眼及び皮膚への接触を避ける。
容器を転倒させたり、衝撃を与えたり等の粗暴な取扱いを避ける。

る。

- 安全取扱い注意事項 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 混触危険物質 : 強酸化性物質
- 保管条件 : 冷所、換気の良い場所で保管する。
必ず密栓しておくこと。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度及び許容濃度 : 設定されていない
- 設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 状況に応じて呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 状況に応じて保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 状況に応じて眼の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じて保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後は手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状 : 液体
- 色 : 淡褐色透明
- 臭い : 微臭
- 融点・凝固点 (°C) : データなし
- 沸点 (°C) : データなし
- 引火点 (°C) : なし
- 発火点 (°C) : データなし

爆発限界（下限 vol%）	： なし
（上限 vol%）	： なし
蒸気密度（空気 = 1）	： データなし
密度（20℃） g/cm ³	： 0.98
溶解度	： 炭化水素系溶剤に可溶、水に分散する。

10. 安定性及び反応性

安定性	： 通常の実取扱い条件では安定。
可燃性	： 通常では引火しないが、布に染込ませたり高温に加熱したりすると燃焼することがある。
避けるべき条件	： 40℃以上での保管。
混触危険物質	： 強力な酸化剤
危険有害な分解生成物	： 不完全燃焼した場合、一酸化炭素発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	： データなし
（経皮）	： ウサギの皮膚にて紅斑、浮腫み等の刺激性を示す。
製品に関する有害性情報	： 製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

残留性／分解性	： 有用な情報なし
生体蓄積性	： 有用な情報なし
魚毒性	： 有用な情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 焼却する場合には、焼却炉の火室へ噴霧するか、おがくず、ウエス等に吸収させて少量ずつ安全に焼却処分する。 中身の入ったものは絶対に廃棄してはならない。 廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内法規制	
陸上輸送	： 労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	： 航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規制	： 航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。
国連分類・国連番号	： 該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	： 容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。 転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行う。 その他、関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

化審法	： 特定化学物質・監視化学物質に該当しない。
消防法	： 該当しない
船舶安全法	： 該当しない

航空法 : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
海洋汚染防止法 : 施行令別表第 1 有害液体物質乙類物質
労働安全衛生法 : 該当しない
化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 該当しない

16. その他の情報

記載内容は最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。またすべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。